

2021年度

# 事業報告書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

一般財団法人 全国競輪選手共済会

## 事業概要

我が国では、新型コロナウイルスが断続的に感染拡大を繰り返す中、ワクチン接種の効果により重症化率は低下している一方で、感染抑制のため緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令による経済活動の制限が影響し、未だに景気の低迷から抜け出せない状況が続いている。また、ウクライナに軍事侵攻するロシアに対し、欧米諸国が行う貿易規制等の経済制裁措置に加え、円安の加速が国内の物価上昇に拍車を掛け、個人消費の落ち込みが懸念されるなど日本経済の先行きに危機感が高まっている。

競輪界においては、無観客開催や場外車券発売の中止等が頻発する中、コロナ禍における「巣ごもり需要」を背景にインターネット投票の普及が大きな要因となり、本年度の車券総売上高は対前年度比28.6%増を記録し、8年連続で前年度を上回る結果となった。

本会事業については、関係団体の支援協力により、本年度も適正円滑な事業の執行に努めた。

給付事業は、落車件数及び負傷の程度に大きく左右されるものであるが、本年度の医療給付、休養給付、傷病見舞金給付、その他諸給付については予算の範囲内での支給結果となった。

オリンピック年金事業は、オリンピック競技大会においてメダルを獲得した者にその功績を讃えて退会後に年金を支給するもので、本年度も受給者に対し年金を支給した。

育英金事業は、幼稚園から高等学校卒業までの受給対象者に対して一時金及び年金を支給し、就学支援と生活の安定を図った。

貸付事業は、貸金業者として貸金業法に則り事業を執行し、競輪選手の福利厚生に努めた。

AED（自動体外式除細動器）事業は、耐用年数の経過時期となった全国の競輪場及び自転車競技場のバッテリーの交換を行い、適切な保守管理に努めた。

なお、日本競輪選手会からの受託業務となっている退職給付及び競輪選手年金に関わる支給事務については、本年度も適正円滑に事務処理を行った。

以上が2021年度の主な事業概要であるが、各事業の詳細については、次のとおりである。

## 1. 給付事業

本会の給付事業は、選手に対する災害補償として、医療給付、休養給付、傷病見舞金給付、障害給付、遺族給付等の給付事業を行っている。これらの給付は関係団体の支援協力により執行されており、給付内容を十分精査し、適正円滑な給付の処理に努めることが求められる。

2021年度の共済事業費については、7億6,650万円を計上し執行したところ、6億592万余円の支出となり、予算の範囲内で執行することができた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催枠組みの変更が継続され、実施レース数については前年度比117.5%の25,649レースとなり、前年度に比べ3,828レース増加している。実施レース数のうち約9割が7車立レースとなっている。また、10月からは千葉250競走も開始され505レースが実施された。

また、落車件数については、前年度比106.3%の1,752件の落車が発生しており、前年度に比べ104件増加したものの落車発生頻度については14.63レースに1件（前年度13.24レースに1件）となり、前年度に比べ1.39レース改善された。

このような状況の中、諸給付の起因となる傷病見舞金給付、治療費にかかる医療給付については前年度に比べ増加となったが、療養期間中における休養給付、その後の後遺障害に対する障害給付については前年度に比べ減少しており、給付事業全体として前年度を下回る結果となった。

なお、各給付の具体的な執行状況は次のとおりである。

＊「実施レース数」「落車件数」「落車発生頻度」

参照：公益財団法人JKA「月別 落車・失格・重注・走注状況表（レース数）」「2021年度4-3月分グレード別落車発生状況」

### (1) 医療給付

本年度の医療給付実績額については、参加中・参加外合計7,784件1億4,029万余円となり、前年度比102.7%と374万余円の増加となった。

参加中実績額については7,544件1億3,450万余円と、前年度比103.1%と406万余円の増加となり、参加外実績額については240件578万余円と、前年度比94.8%と31万余円の減少となった。

医療給付実績額については、新型コロナウイルスが流行した2020年度以降大幅に減少している。医療給付のうち入院診療費については医療給付の8～9割を占める部分となるが、入院診療について〔入院件数・入院日数・入院診療費〕において2019年度と比較すると、2019年度〔2,134件・15,977日・1億4,899万余円〕に対し、2020年度〔1,773件・11,526日・1億1,860万余円〕と、それまで増加傾向となっていた入院診療費は2020年度に20.4%減少した。

本年度の医療給付についても、コロナ禍における医療機関の対応や、競走中における落車発生頻度の改善や重傷事故の発生が減少していることなどから、入院診療においては〔1,803件・10,514日・1億2,169万余円〕となっており、前年度に比べ微増とはなかったものの、依然として入院診療の低調傾向が継続されている。

なお、医療給付の予算においては、参加中・参加外合計9,390件1億7,621万円に対し1,606件3,591万余円の執行残となったが、今後も落車負傷による診療傾向やコロナ禍における医療機関の対応等医療保険制度の動向を注視し対応していくことが必要である。

## (2) 休養給付

本年度の休養給付実績額については、参加中・参加外合計1,555件3億4,360万余円となり、前年度比85.8%と5,683万余円の減少となった。

参加中実績額については1,465件3億2,868万余円となり、前年度比86.8%と4,985万余円の減少となった。また、参加外実績額については90件1,491万余円となり、前年度比68.1%と698万余円の減少となった。

本年度の休養給付については、落車件数1,752件に対する1回目の休養申請（休養初回申請数）が811件となり、休養給付発生率（休養初回申請数/落車件数）については46.3%であった。これは、前年度の休養給付発生率51.7%〔落車件数1,648件・休養初回申請数852件〕に比べ減少しており、落車はしたものの次回競輪を欠場せず復帰している選手の割合が増え、重傷となる落車事故が減少していることがうかがえる。

また、休養給付受給者においても休養申請件数及び休養累計日数について、前年度〔1,808件・51,601日〕に対し、本年度〔1,555件・44,237日〕と減少しており、療養に要する期間も短くなっている。なお、この日数に級班別の支給額を乗じた基本日額の総支給額については、本年度は2億2,636万余円となり、前年度比85.5%と3,829万余円の減少となった。

なお、休養給付の予算においては、参加中・参加外合計1,930件4億2,851万円に対し375件8,490万余円の執行残となったが、今後も療養状況の確認や適宜実態調査を行うなど適正な給付処理にあたる一方、落車発生頻度の動向や療養に要する期間等を十分に見極め対応していくことが必要である。

### (3) 傷病見舞金給付

本年度の傷病見舞金給付については、傷病見舞金・緊急措置費合計2,300件1,087万余円となり、前年度比107.5%と75万余円の増加となった。

傷病見舞金実績額については1,684件999万円となり、前年度比104.3%と41.5万円の増加となった。給付内容としては、競走中の落車・接触により診断日数30日以内となった者に対し給付される傷病見舞金5千円の給付が1,370件685万円となり、前年度に比べ81件40.5万円増加した。また、診断日数31日以上に対する傷病見舞金1万円の給付については、314件314万円となり、前年度に比べ1件1万円増加した。

緊急措置費実績額については616件88万余円となり、前年度比163.0%と34万余円の増加となった。給付内容としては、入院雑費として63万余円、家族招致に対する旅費・滞在費として、該当者4名に対し24万余円の支給を行った。

本年度については、レース数の増加に伴い落車件数も増加となった結果、傷病見舞金給付全体の実績額についても増加するところとなった。

なお、傷病見舞金給付の予算においては、傷病見舞金・緊急措置費合計2,955件1,530万円に対し655件442万余円の執行残となったが、傷病見舞金については諸給付の起因となることから、今後もレース数及び落車件数の動向を見極め対応していくことが必要である。

### (4) 障害給付

#### ① 障害一時金・障害見舞金

本年度の障害一時金・障害見舞金実績額については、参加中・参加外合計205件7,519万円となり、前年度比87.6%と1,062万円の減少となった。

参加中実績額については197件7,279万円となり、前年度比87.5%と1,036万円の減少となった。給付内容としては、軽度障害に対する障害見舞金（第14級～12級）に該当する障害が192件、中程度障害に対する障害一時金（第11級～6級）に該当する障害が4件、

重度障害に対する障害一時金（第5級～1級）に該当する障害が1件であった。

参加外実績額については8件240万円となり、前年度比90.2%と26万円の減少となった。給付内容については、軽度障害に対する障害見舞金（第14級～12級）に該当する障害が8件であった。

障害一時金・障害見舞金の予算においては、参加中・参加外合計264件9,502万円に対し59件1,983万余円の執行残となったが、障害給付については重傷者の障害状態を十分に見極め対応していくことが必要である。

## ② 障害年金

障害年金は、障害給付該当者のうち特に介護を要する身体障害状態にある重度障害者に対し、将来にわたる生活設計の安定を図るため、支給するものである。

本年度は、受給者2名が死亡、新規受給者1名を加えた26名に対し、9,633万余円を支給した。

## (5) 遺族給付

遺族給付については、練習中1名3,000万円、その他1名500万円の計2名3,500万円の支給となった。

## (6) 遺体輸送給付

遺体輸送給付については、該当者はなかった。

## (7) 障害特別見舞金

障害特別見舞金は、障害年金施行前に障害となった者で、重度の身体障害が継続している元正会員に対し、その窮状を救うため継続して見舞金を支給するものである。

本年度は、該当者2名に対し96万円を支給した。



2021年度共済事業予算・実績原因別給付額一覧表

付表1

給付	原因別	予算対比		予 算			実 績			増(△) 減		
		件数	金額	件数	金額	1件当たり金額	件数	金額	1件当たり金額	件数	金額	1件当たり金額
医療給付	参加中	9,100	169,440,000	18,620	7,544	134,504,668	17,829	1,556	34,935,332	790		
	参加外	290	6,770,000	23,345	240	5,789,741	24,124	50	980,259	△ 779		
	計	9,390	176,210,000	18,766	7,784	140,294,409	18,023	1,606	35,915,591	742		
休養給付	参加中	1,800	406,800,000	226,000	1,465	328,689,000	224,361	335	78,111,000	1,639		
	参加外	130	21,710,000	167,000	90	14,915,000	165,722	40	6,795,000	1,278		
	計	1,930	428,510,000	222,026	1,555	343,604,000	220,967	375	84,906,000	1,059		
傷病見舞金給付	見舞金	参加中	2,340	13,810,000	5,902	1,684	9,990,000	5,932	656	3,820,000	△ 31	
		参加外				0	0					
		小計	2,340	13,810,000	5,902	1,684	9,990,000	5,932	656	3,820,000	△ 31	
	緊急措置費	参加中	615	1,490,000	2,423	616	882,935	1,433	△ 1	607,065	989	
		参加外				0	0					
		小計	615	1,490,000	2,423	616	882,935	1,433	△ 1	607,065	989	
計	2,955	15,300,000	5,178	2,300	10,872,935	4,727	655	4,427,065	450			
障害給付	参加中	241	88,530,000	367,344	197	72,790,000	369,492	44	15,740,000	△ 2,148		
	参加外	23	6,490,000	282,174	8	2,400,000	300,000	15	4,090,000	△ 17,826		
	計	264	95,020,000	359,924	205	75,190,000	366,780	59	19,830,000	△ 6,856		
遺族給付	正会員	参加中			0	0						
		参加外	3	50,000,000	16,666,667	2	35,000,000		1	15,000,000	16,666,667	
		小計	3	50,000,000	16,666,667	2	35,000,000		1	15,000,000	16,666,667	
遺体輸送給付	参加中				0	0						
	参加外	1	500,000	500,000	0	0		1	500,000	500,000		
	計	1	500,000	500,000	0	0		1	500,000	500,000		
障害特別見舞金		2	960,000	480,000	2	960,000	480,000	0	0	0		
合計	参加中	14,097	680,550,000	48,276	11,507	547,336,603	47,566	2,590	133,213,397	711		
	参加外	448	85,950,000	191,853	341	58,584,741	171,803	107	27,365,259	20,050		
	計	14,545	766,500,000	52,699	11,848	605,921,344	51,141	2,697	160,578,656	1,557		
障害年金		27	82,860,000	3,068,889	26	96,338,300	3,705,319	1	△ 13,478,300	△ 636,430		
競輪選手オリンピック年金		2	1,680,000	840,000	2	1,680,000	840,000	0	0	0		
育英金	育英年金	22	7,080,000	321,818	22	7,350,000	334,091	0	△ 270,000	△ 12,273		
	育英一時金	(7)	1,000,000	142,857	(8)	1,200,000	150,000	(△ 1)	△ 200,000	△ 7,143		
	計	22	8,080,000	367,273	22	8,550,000	388,636	0	△ 470,000	△ 21,364		
総合計		14,596	859,120,000	58,860	11,898	712,489,644	59,883	2,698	146,630,356	△ 1,023		

注 1. 障害年金・競輪選手オリンピック年金・育英金は特別会計である。  
 2. ( )内は件数に算入しない。